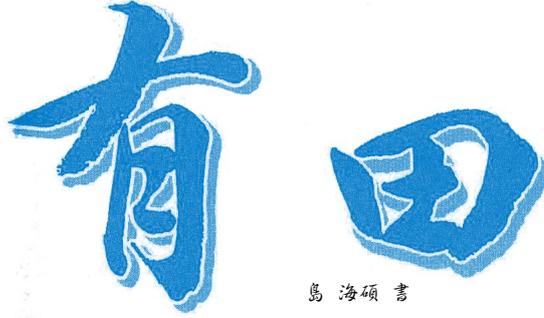


No. 2933

2019-2020年度

会 長 橋本 拓也
幹 事 中元耕一郎
R広報委員長 脇村 重徳



第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2019-2020年度クラブ方針
明日に繋がる活動
Activities for a brighter future



本日のプログラム

令和元年12月12日 第2934回

- ・ 年次総会
- ・ ソング：「それでこそロータリー」

次回のお知らせ

令和元年12月19日 第2935回

- ・ 前期活動報告
- ・ ソング：「四つのテスト」

前回の報告（第2933回例会）

開催日 令和元年12月7日(土)

点 鐘 (橋本会長)

ゲストの紹介 (児嶋親睦活動委員長)

山本康久様(那智勝浦町立温泉病院 院長)
松本竜弥様(PBM企画 マジシャン)
松本優様(PBM企画 アシスタント)

今月の誕生・結婚祝 (児嶋親睦活動委員長)

会員誕生：中村君、岩橋君、宮井君、
石垣(洋)君、井上君
配偶者誕生：なし
結婚記念：なし

ニコニコ箱の報告 (岩橋SAA)

橋本君：山本康久様、本日はようこそ有田RCへ。卓話よろしくお願ひします。
中元君：山本先生、ようこそ有田RCへ。PBM企画の松本竜弥様、優様、本日のマジックよろしくお願ひいたします。
石垣(洋)君：山本先生、本日はありがとうございます。卓話楽しみにしています。
児島君：今晚は皆様にお世話になりました。
松村君：山本院長様、本日はありがとうございます。お話楽しみにしています。
上野山(栄)君：本日は当社のゴールデンリバーをご利用下さいましてありがとうございます。山本院長様、本日は卓話ありがとうございます。松本様、マジック楽しみです。
橋爪(誠)君：山本様、ようこそ有田へ。本日の卓話よろしくお願ひ申し上げます。
石垣(泰)君：山本康久様、本日の卓話よろしくお願ひします。
丸山君：山本様、卓話楽しみにしています。マジック楽しみです。
児嶋君：ようこそ有田ロータリークラブへ。山本康久先生、卓話よろしくお願ひします。松本竜弥様、松本優様、マジックショー楽しみにしています。
菅原君：山本康久様、ようこそ有田RCへ。卓話宜しくお願ひ致します。
北畑君：本日、クリスマス例会、山本康久先生、卓話よろしくお願ひします。
嶋田(恵)君：山本先生、本日は有田へようこそ。ありがとうございます。卓話楽しみにしていますので、よろしくお願ひ致します。
岩橋君：山本康久先生、卓話よろしくお願ひします。



12月のお誕生日

(左から) 岩橋君、石垣(洋)君
お誕生日おめでとうございます！！



出席報告 (石垣(泰) 例会運営委員長)

本日の会員数31名
(出席規定免除会員8名)
出席会員数15名
(出席規定免除会員3名)

会長の時間 (橋本会長)

「地区立法案検討会& 疾病予防と治療について」

本日、りんくう国際物流センターで「地区立法案検討会」が開催され、私が当クラブを代表して選挙人として参加してきました。

審議の内容は

①RI会長に対し、ワールド大阪ロータリーEクラブ所属・久保治雄君につき、ロータリー章典19.060.2に照らしパストガバナーとして許されない行為である以下の所為を理由として、同君のパストガバナーとしての資格を剥奪する処分を行っていただくよう要請する件

⇒ 賛成74、反対0、保留1

②選挙人豊田泰史君他からの追加議案

追加議案を議案として審議することに対する賛否

⇒ 賛成75、反対0、保留0

(ア)議案1、国際ロータリー第2640地区は、ワールド大阪ロータリーEクラブに対し、同クラブの会員である久保治雄氏が、ガバナーの業務を妨害したり、ガバナーその他ロータリアン・当地区の職員らに対する誹謗中傷文書を地区内外に発信する等の行為をしないよう適切な指導監督ならびに措置を行うことを求める。

⇒ 賛成74、反対0、保留1

(イ)議案2、国際ロータリー第2640地区は、ワールド大阪ロータリーEクラブの会員である久保治雄氏に対し、ロータリークラブからの退会を勧告する。

⇒ 賛成74、反対0、保留1

<参考1> 信任状について

国際ロータリー細則(2016年手続要覧) 第16条地区

16.050 地区大会および地区決議会での投票

16.050.1 選挙人

- ・地区内の各クラブは少なくとも1名の選挙人を選び、それを証明し、そしてこれをその地区の年次地区大会及び地区決議会に送るものとする。
- ・会員数37名までのクラブは1名の選挙人を持つ資格を有し、会員数が38名から62名までのクラブは2名・・・

<参考2> ロータリー章典19.060.2について

19.060.2. パストガバナーから成る諮問委員会

各地区は、パストガバナーから成る諮問委員会を設置すべきである。この諮問委員会は、地区内ロータリークラブの会員であるパストガバナー全員によって構成される。国際協議会で討議され、発表された事項をガバナーエレクトが現ガバナーとパストガバナーに報告するため、ガバナーは、少なくとも年に1回、国際協議会后1カ月以内に、諮問委員会を招集するよう求められている。

パストガバナーの助言や行動により、ガバナーの権限

や責務が少しでも損なわれたり、妨げられたりするようなことがあってはならない(2015年1月理事会会合、決定118号)。

12月は「疾病予防と治療」月間です。

ご存知の通り、ロータリーはポリオのない世界をめざす世界的イニシアチブにおいて中心的な役割を担っており、世界中のロータリー会員が予防接種活動への参加、各国政府への呼びかけ、募金活動／寄付などを通じてサポートしています。

そのほかにもロータリー会員は、マラリア、エイズ/HIV、アルツハイマー型認知症、多発性硬化症、糖尿病など、さまざまな疾病の予防と治療に携わっています。また、貧困地域の人たちを対象とした聴覚、眼科、歯科検診も実施しています。

疾病との闘いでは、患者への直接的なサポートだけでなく、地域社会全体のキャパシティを高めることも重要となります。

ロータリーには、「疾病との闘い」分野で活動する13のロータリアン行動グループがあります。

- 1)薬物中毒防止、2)アルツハイマーと認知症、3)失明予防、4)献血、5)糖尿病、6)家族の健康／エイズ予防、7)保健教育と福祉、8)聴覚、9)肝炎、10)マラリア、11)メンタルヘルス、12)多発性硬化症、13)ポリオサバイバーと支援者

幹事報告 (中元幹事)

<地区より>

1. オンソー・ホノルル国際大会参加・登録の案内が届く(菅原委員長にメールでお知らせをする。)
2. 第4回 ローターアクト委員会の案内が届く(丸山委員長に案内書類をお渡りする。)

次週12月12日(木)は年次総会です。次年度の役員・理事が選出されます。そして、今年度の上期決算報告も発表されます。

ゲストの紹介 (橋本会長)

本日の卓話者山本康久さんをご紹介します。

山本さんは、現在、那智勝浦町立温泉病院の院長をされています。和歌山県立医科大学医学部臨床教授 日本臨床コーチング研究会副会長・和歌山県臨床コーチング研究会会長もされています。昭和56年3月 和歌山県立医科大学卒業 以後、和歌山県立医科大学附属病院内分泌内科、大阪鉄道病院、紀南総合病院、山本内科病院、西和歌山病院、国立大阪南病院内科、阪南市立病院内科・糖尿病センター、和歌山ろうさい病院内科部長(勤労者予防医療部長・糖尿病センター長)・副院長を経て、平成25年4月1日 那智勝浦町立温泉病院 院長 平成25年9月1日～厚生労働省医員(名古屋検疫所尾鷲・勝浦出張所)兼務 学会・資格等:

日本内科学会認定医、日本糖尿病学会専門医・指導医、日本東洋医学会専門医・指導医

病態栄養専門医、日本禁煙科学会認定禁煙支援士、日本臨床コーチング研究会認定コーチ
日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医、和歌山県立なぎ看護学校非常勤講師、那智勝浦町役場等産業医
専門分野：

糖尿病・生活習慣病・禁煙支援・臨床コーチング・医療コミュニケーション等

私と山本さんとは、海南高校の同級生で、私は初島、彼は下津なので同じ電車で高校に通っていました。RCの会長になったら同級生の活躍している人たちに卓話に来てもらおうと一番最初をお願いしたのが山本さんでした。那智勝浦で勤務しているので難しいなと思いましたが、週末帰ってくるというので土曜日になりました。快く引き受けて頂き有難うございました。

本日は、「心に寄り添う医療～糖尿病専門医のつぶやき～」というテーマで日頃活躍されている専門分野の話をして頂けるという事です。どうぞ宜しくお願い致します。

卓話

「心に寄り添う医療

～糖尿病専門医のつぶやき～」



那智勝浦町立
温泉病院 院長

山本 泰久 様

皆様には既にご承知の事と存じますが、医療は介護と違い患者様に肉体的・精神的苦痛を伴う事が非常に多

いです。医療はCureとCareの場であり、介護は生活の場という歴然とした違いがあるからです。また昔の医療は、パターンリズム医療で、「医師の言うことを聞いておきなさい」的でした。まさしく救急医療の現場がそうで、医療の緊急度・重要度共に高い為、十二分のご理解の上での処置・治療が出来ていない現状があり、患者さんに痛みや不安や恐怖感などが出現してしまいます。しかしながら糖尿病臨床では治療・療養の重要度が高いのですが緊急度はそれほど高くないので、患者さんに理解し自ら行動変容していただくのを待てるのです。残念ながら医療者が患者さんの為に良かれと思って先進医療情報を交え生活習慣の見直しを何度提案しても、受け入れていただけない患者さんが多くおられます。そこで私は臨床コーチングを導入し、「叱らない糖尿病外来」で実績をつみ上げ、「笑顔あふれる・また来なくなる握手外来」を目指し精進しています。また同じコンセプトで、禁煙外来にも長年取り組んで来ました。

さて超高齢化社会で入院患者さんの高齢化が顕著で100歳も当たり前となり、医療現場では2025年問題(多死社会)が話題になり、就活でなく⇒終活(どのように死にたいか!)を共に考え取り組む様になってきました。延命治療には苦痛が伴うことが多いので、患者さんがどうしたいのか、ご家族がどうしたいのか、ギャップは埋められるか、周りのサポートはどうか等を考慮して、一緒に考えて行く時代になっています。終末期患者さんの介護者負担軽減などに、レスパイト入院も導入されています。

私事ですが、8年間勤務した和歌山ろうさい病院から、6年半前に就任した那智勝浦町立温泉病院の理念を職員と共に作成し掲げた「心に寄り添う医療」は、まさしく医療・介護の課題を解決する糸口だと確信しています。

閉会・点鐘

(橋本会長)



クリスマス例会 集合写真

マジックショー

PBM企画 松本竜弥様が
繰り広げる非現実の不思議空間



↑かかっているはずの
手錠がなぜかスリリと
はずれる!?

↑机が浮いてます!!

懇親会



上野山(栄)直前会長による
乾杯!!



松村副会長に →
中締め挨拶を
していただきました



児嶋親睦活動委員長と
北畑親睦活動副委員長が
サンタさんに



丸山君も
トナカイに乗った
サンタさんに

